

マリンレジャー安全レポート

第23号(平成19年6月)

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp



水上オートバイの事故に注意しよう!

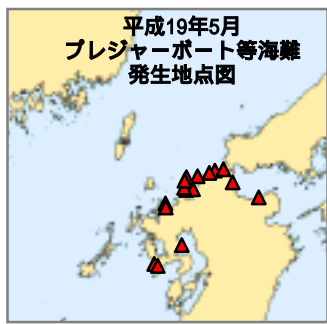
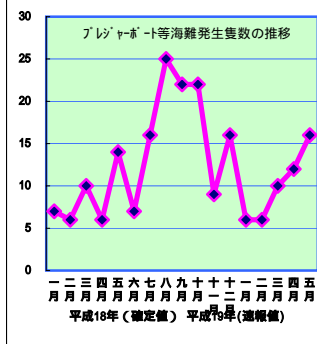
男性Aさん(28歳)は、マリンレジャーを楽しむため、壱岐島に来島し、5月6日午後12時30分、知人のクルーザーとともに、同じく知人の操船する水上オートバイの後部に乗船し、壱岐市湯本湾内から筒城浜海水浴場向け出港、湯本湾を出た後、船首方向から約1杯の高さの風浪があったものの、航行可能と判断し、速力を落とし操船中、予想もしないような波が押し寄せ、2人乗りの水上オートバイは、空中に舞上り、海面に投げ出された。その後、クルーザーに収容され、救急車で病院に搬送されています。Aさんは、全治3ヶ月の左大腿部骨折でした。Aさん等は救命胴衣を着用していました。

平成19年5月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	16隻
衝突	0
乗揚	2
転覆	3
浸水	1
推進器障害	3
舵障害	0
機関故障	6
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	1
安全阻害	0
その他	0

～事故からの教訓と対策～

Aさんは、ライフジャケットを着用していたことと、同行していた仲間のクルーザー乗員の早期発見で救助されています。
マリンレジャーの海中転落事故では、まず、**海に浮いていることが重要です**。浮かんでいれば、救助の手が差し延べられます。
そのためにも、ライフジャケットを着用する必要があります。ライフジャケットを着用して救助を待ちましょう。



水上オートバイの事故対策:

- 1 水上オートバイは転覆しても、自動復元しません。
- 2 無免許者は操縦できません。
- 3 救命胴衣を着用しましょう。
- 4 携帯電話(防水ケース入り)を所持しましょう。
- 5 無謀操船は止めましょう。
- 6 操船前の点検は必ず行いましょう。
- 7 天候を十分チェックし、風浪が強い場合、止めましょう。

小型船舶の機関取扱い～シリーズ

機関の故障や整備不良による海難が急増!

Q6 4ストローク船外機は2ストロークの船外機より熱くなる!なぜ?

4ストロークと2ストロークの違い



2ストロークと比べると

圧縮比が高いので燃焼ガスの温度が高いクランクケースに冷えた空気と燃料が入らない構造なので、熱くなります。

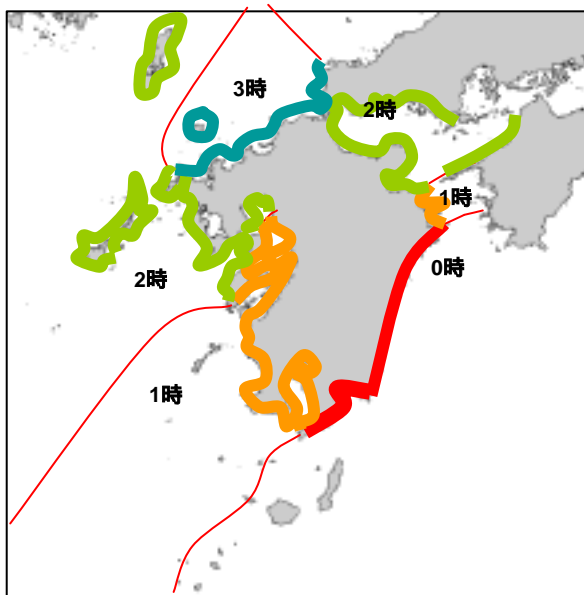
特に高速運転後、直ちにエンジンを停止すると、冷却水が流れなくなるのでエンジン温度が急上昇し、冷却水通路に塩・水垢が短時間で形成されたり、ガスケットなどが損傷したりして故障の原因となります。

十分に冷機運転をおこなってください!!

海の相談室だより (七管本部海洋情報部)

「潮の遅れ」簡易計算法

七管区「海の相談室」に、よくある質問で、「週末に釣りをするので、当日の現地での潮の時間と潮流の時間を教えてください」というものがあります。潮の時間は、新聞や釣具屋などで入手した潮見表からある程度は確認できたりするのですが、新聞では明日の時間だったり、潮見表では釣りをする場所と時間が掲載されている場所が違ったりしているため、質問されるようです。



- 1, 1日ごとに満潮(干潮)時間は約40分ずつ遅れる
- 2, 地域による時間差は、九州南東岸で0時頃に満潮なら、九州北岸は約3時間遅れる
- 3, 近隣の海域では満潮は太平洋側からやってくるイメージ
- 4, 大分と門司では同日の満潮の時間は大分が1時間早い

さて、門司と博多では「潮の遅れ」どのくらい違うのでしょうか？
簡易計算はおおよその時間を示すものです。干満の差が少ない小潮期は誤差が大きくなります。
博多の満潮時は門司に比べ約30分遅れになります。

「七管区海の相談室」 電話：093-331-0033
ホームページ：<http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/> から
「海の相談室」へ

もしものときは118番！

海のもしものは118番です。

海上保安庁では緊急通報用電話番号を局番なし118番(無料)として設定していますので有効に活用してください。

もしもの時の救助要請は、118番まで！救助要請を受けた海上保安庁などが、他の機関と連携しつつ救助に駆けつけます。

